



早坂愛さん（古川地域鶴ヶ塚）
昨年4月石巻市から転入

「おいしいものがいっぱい」

講座の内容が面白そうだったので参加しました。講座で一番感動したのは、実習で作ったしそ巻ときゅうりをしそで巻いた漬物です。とてもおいしくて、地元の味を実感しました。いも煮会で鳴子温泉に行き、とても紅葉がきれいで感激しました。講座の回数を重ねるごとに大崎市のことを知り、今では大崎市出身の夫より、「おおさきのおいしいもの」を知っているのが自慢です。



飯塚詩世さん（古川地域旭）
一昨年11月東京都練馬区から転入

「親子でふれあいの場」

友達が欲しいので参加しました。子どもを連れて参加ができ、参加した人や子守りボランティアさんなどが子どもを見てくれるので、わずかな時間ですが子育てから解放されました。子どももいろいろな人に遊んでもらえるので喜んでいました。近所の友だちに習ったことを教えると、知らないこともあり、参加したいと言われます。「講座に参加して良かったなあ」と思います。



ようこそ大崎市へ、学びと新たな出会いの場 転入奥様ふれあい講座

「転入奥様ふれあい講座」は転勤などで大崎市に住むことになった人に、大崎市のことを知ってもらいながら、生活環境の違いから生じる戸惑いや、不安を解消し、参加者同士の交流を深める場です。あなたも参加してみませんか。

問 中央公民館 ☎ 3001

根強い人気

講座は、転入して来た人には戸惑いのあるゴミの分け方をはじめ、市内の施設や史跡めぐり、郷土料理の実習など、大崎市を知ってもらうためのメニューが「いっぱい」です。また、子ども連れの参加者に実習に専念してもらおうため、子守りボランティアなどの協力をもらいます。これまで参加した人たちは、広報紙や、以前参加した人からの誘いなどが受講のきっかけとなっていました。また二年続けて受講する人もいます。回数を重ねることに絆が深まり、終了後も付き合い合いが続き、講座は転入してきた人に根強い人気です。

講座は大崎市がてんこ盛り！

期間 5月25日(金)～12月7日(金) 10時～12時(移動研修は14時まで)
場所 中央公民館
対象 大崎市に転入した女性(子ども連れでも参加できます)
定員 20人
料金 無料(ただし、施設入館料、調理実習などの実費負担あり)
申込 5月15日(火)まで中央公民館に電話で申し込み

講座内容 ※都合により変更になる場合があります

月	内容	月	内容
5月	開講式講話 「はじめましておおさき！」	10月	家族交流 「手ぶらで芋煮に出かけよう」
6月	移動研修 「大崎施設めぐり」	10月	移動研修 「大崎社会見学」
7月	移動研修 「大崎社会見学」	11月	講話 「みんなですすめよう食育」
7月	調理実習 「大崎郷土料理に挑戦！」	11月	調理実習 「お米の粉で簡単レシピ」
9月	移動研修 「大崎史跡めぐり」	12月	閉講式

市長コラム 天・地・人



ゴールデンウィークと東北観光博

今年のゴールデンウィーク、市民の皆様はいかがお過ごしでしょうか。行楽地に足を延ばす方、家でゆっくりされる方、農作業や仕事で忙しくされる方など様々、有意義に過ごされることと思います。

今年は春の到来が遅かった分、桜や、菜の花などの花々が咲く時期とちょうどマッチする所もあるでしょう。新緑がまぶしい所もあるでしょう。

昨年のこの時期は震災復旧に奔走しておりましたし、日本中で観光や行楽を自粛する動きがありましたので、ゴールデンウィークを楽しむ環境にありませんでした。今年は心に落ち着きも出てきましたし、東北を元気にしよう東北観光博も開催中です。

被災の爪痕は生々しくても、東北には長い時間をかけて育んできた日本の原風景ともいえる美しい山

河・自然があり、日本人の心の原点ともいえるべき「おもてなしの心」があります。明治時代に東北を旅したイギリスの女性旅行家イザベラ・バードは東北の美しさに驚嘆し、東北を「東洋のアルカディア(理想郷)」と讃えております。その東北をまるごと博覧会場として、一年間開催します。

ゴールデンウィークを皮切りに沢山の来訪者と「心をむすび、出会いをつくる」取り組みが展開されております。

大崎市も二十八ゾーンの一つとして、主体的に起動力、市民皆様一人ひとりが観光案内役を担っていただく「おおさき宝倶楽部」事業をスタートいたしました。

大崎市長 伊藤 康志